

四国の産業観光資源

JR 四国多度津工場（仲多度郡多度津町）

★施設・見学の概要

JR四国多度津工場は、明治22年（1889年）に建設された歴史を持つ、全国でも2番目に古い鉄道車両工場であり、同社が保有する435両の列車の定期検査並びに臨時検査を行っている。敷地面積85,878m²と甲子園球場の2倍の広さがある。敷地内の建物のうち、明治や昭和初期に建てられた7棟は経済産業省の近代化産業遺産に認定されており、現在も検査工場や倉庫などとして使われている。

工場では、鉄道車両の検査業務をはじめ、国鉄時代からの鉄道グッズ、写真パネルなどが見学できる。



工場入口に展示してある動輪

所在地	香川県仲多度郡多度津町 大通り4-5
見学内容	鉄道車両の検査業務
定員	15人～40人
所要時間	約90分
公開時間	9：00～16：00
休業日等	土日祝日・年末年始等休日
予約	10日前までに電話予約要
料金	無料
予約/問合せ先	TEL：0877-32-3201（車両科）
URL	—
アクセス	JR 多度津駅から徒歩約 1 km

(JR 四国多度津工場)

工場長 吉本 英三郎 氏

ーどのような作業を見学できますか。

検査作業は、まず鉄道車両からエンジンや台車、電気機器、ブレーキなどを分離し、装置毎に専門の担当者が整備した後、再び組み立てます。車両1両の検査は約2週間かかりますので、その日によって見学できる内容は異なります。特に、約30t以上ある車両を、天井クレーン2基を用いて吊り上げて、車体と台車に分離する作業をすぐ近くで見るのはかなりの迫力があり、見どころです。

また、飛行機格納庫として使用されていた建物もあり、戦時中の空襲を免れ現存しております。全国的にも貴重な軍事関係遺構となっています。

メッセージなどをどうぞ。

毎年鉄道の日（10/14）前後に「きしゃっぽっぽまつり」を開催し、今年は10/9（土）に行います。全国でもほとんど運行していない古い列車が工場内を走行したり、車両グッズ販売をしております。また、お子様にはミニ列車に乗って頂けるなど、大人も子供もお楽しみ頂けるお祭りですので、是非お越しください。



鉄道車両を吊り上げて検査している光景